


吸気グリル(フィルター付・風量調節形)

・DV-1KAVF ・DV-2KAVF

- このたびは吸気グリルをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの吸気グリルを正しく使っていただくために、この取付説明書をよくお読みください。
- この吸気グリルは、東芝ダクト用換気扇などに取り付けて使用するものです。
- この取付説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。


安全上のご注意

- ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

| 表 示 | 表示の意味 |
|---|---|
|  注意 | 誤った取り扱いをすると人が障害を負ったり、*物的損害の発生が想定される内容を示します。 |

図記号の例

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

| 図 記 号 | 図記号の意味 |
|---|--|
|  確実に取り付ける | ●は、強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「確実に取り付ける」を示します。 |



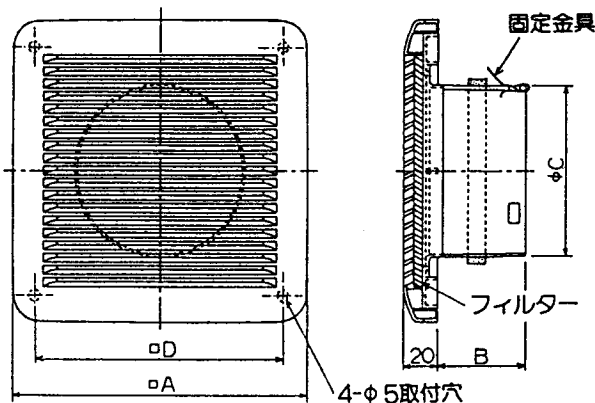
強度のある所に確実に取り付けること

落下により、けがをす
る恐れがあります。



確実に取り付ける

外形図



寸法表

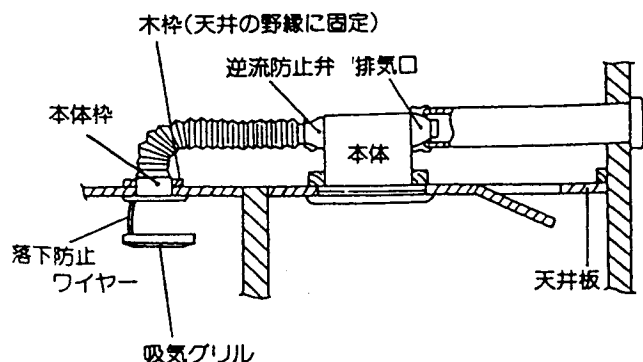
(単位:mm)

| 形名 | A | B | C | D | パイプ口径 |
|----------|-----|----|-----|-----|-------|
| DV-1KAVF | 170 | 50 | 97 | 142 | φ100 |
| DV-2KAVF | 225 | 60 | 144 | 196 | φ150 |

付属品

- ・木ねじ……………4本
- ・固定金具……………3個

取付図



(フレキシブルダクトを使用した取付例)

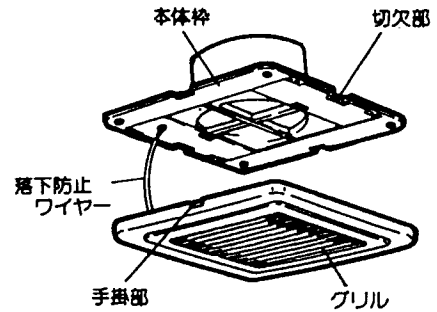
お願い

- グリル付近の温度が60℃以上になるところには取り付けないでください。(グリルが変質することがあります)
- 台所など油煙のかかるところには取り付けないでください。(グリルが変質することがあります)
- 浴室には取り付けないでください。
- スプレー(殺虫剤・整髪用・掃除用など)をかけないでください。(グリルの変質の原因になります)
- 取り付けのときは、厚手の手袋を着用してください。(固定金具の切口により手が切れる恐れがあります)

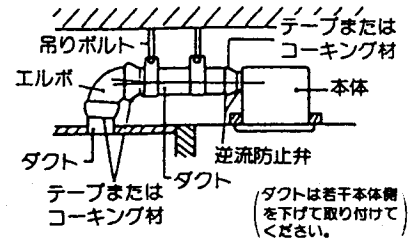
取付方法

取付工事前に製品に変形など異常がないか確認してください。

1. グリルの両側の手掛部を持ってグリルと本体枠を分解します。

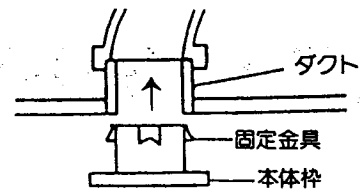
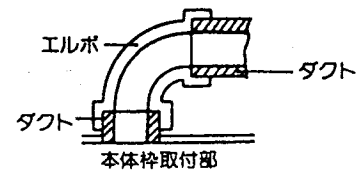


2. 換気扇本体と吸気グリル取付部の間をダクトで接続し、接続部をテープまたはコーキング材で密封します。



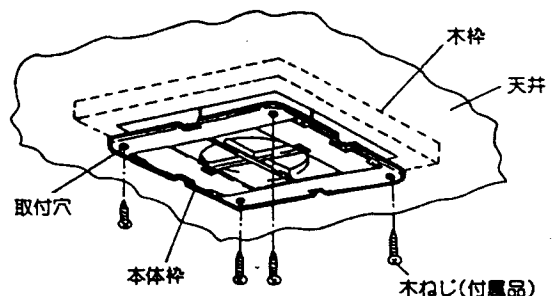
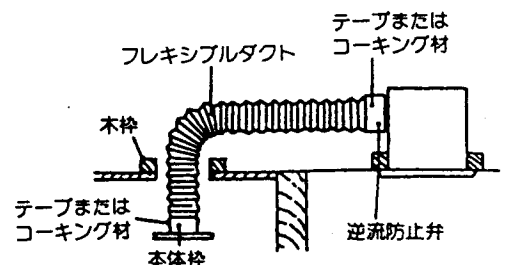
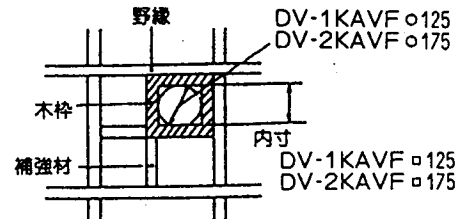
塩ビダクトを使用する場合

- 逆流防止弁やエルボにダクトの重量が加わらないように、ダクトを吊りボルトなどで保持してください。
- エルボの本体枠取付部（天井面側）にも必ずダクト（VU-100またはVP-100）を取り付けてください。
- ・ダクトがないと本体枠が取り付けられません。
- 本体枠に付属の固定金具（3個）を差し込んでください。（120°等配）
- 本体枠をダクトに押し込んでください。



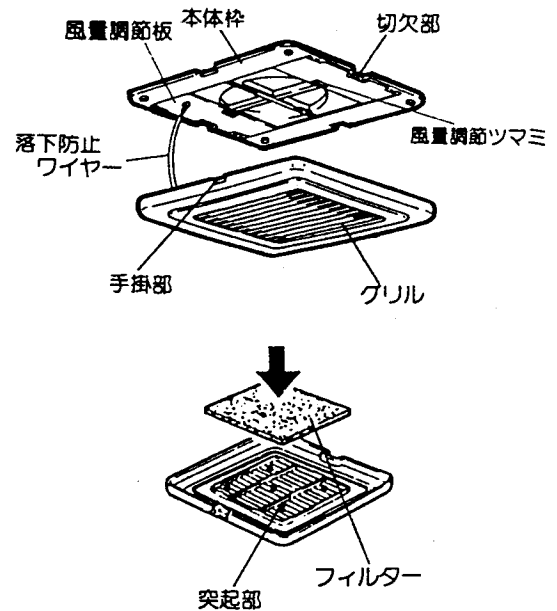
フレキシブルダクトを使用する場合

- ① 本体枠取付用木枠をつくり野縁に固定します。
- ② 天井板に穴をあけます。
DV-1KAVFφ125
DV-2KAVFφ175
- ③ フレキシブルダクトを木枠へ通し、室内側で本体枠と接続します。
- ④ 本体枠を付属の木ねじ4本で木枠に固定します。



3. グリルを取り付けます。

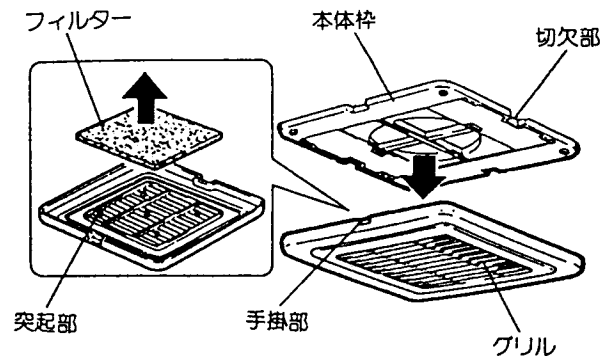
- ①必要に応じて風量調節ツマミにより開口面積を調節します。
(目盛りを目安に開口面積を決めます。)
- ②フィルターがはずれているときは、グリル内側の突起部(5ヶ所)にフィルターを差し込んでください。
- ③取りはずしたグリルをお好みの風方向に合わせ、グリルの手掛部と本体枠の切欠部を合わせてはめ込みます。
その時、グリルの落下防止ワイヤーの取付位置をグリルの取付方向により変えてください。
又、取付ねじは締めすぎないでください。締めすぎますとねじがルーズになる恐れがあります。



お手入れのしかた

- グリル吸込口やフィルターにほこりなどが付着しますと、風量低下や異常音発生の原因となります。約2カ月に1度を目安として清掃をしてください。

1. 換気扇の運転を停止します。
2. グリルをはずします。
・グリルの両側の手掛部を持って下へ引きながら本体枠よりはずします。
3. グリルからフィルターを取りはずします。
4. グリル・フィルターの清掃をします。
・グリルの汚れはぬるま湯に浸した布をかたくしぼってふいてください。
汚れのひどいときは、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れをふきとり、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふきとってください。
・フィルターの汚れは、きれいな水で軽く水洗いをし、よく乾かしてください。
5. フィルター・グリルを元のように取り付けます。



お願い

- フィルターを入れ忘れますと天井が汚れる原因となりますので、フィルターを入れ忘れないよう十分注意してください。フィルターはグリル内側の突起部(5ヶ所)に差し込みます。
- お手入れにはシンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤などは使用しないでください。(変質・変色の原因となります。)